

実践⑤ にじのいえおはなし会(屋久島町)

「にじのいえおはなし会」は、屋久島にある保育園『にじのいえ』を拠点に活動するおはなし会です。「にじのいえの子供たち、元気いっぱいかわいいな！素敵だな！絵本を持って遊びに行ってみよう！」。近所に住む、現メンバーのこんな気持ちからおはなし会が始まりました。遠足や散歩の時に絵本を読んだり、クリスマス会にパネルシアターを行ったり、不定期に絵本の読み聞かせを行ったりしていました。その活動に、徐々に保護者が加わるようになり、2011年からは月に1回の定期的なおはなし会となりました。園児の入園・卒園に伴い、ボランティアメンバーが交代しながら継続し、2018年からは、にじのいえだけでなく、町内の複数の小学校でおはなし会を開催したり、屋久島図書室主催のおはなし会に参加したり、地域の子育て支援センターでおはなし会を行ったりと活動の幅を広げています。現在メンバーは6人、活動は今年で14年目になります。

できる人ができる時に無理なく、子供たちと一緒に絵本の世界を楽しむことを目標にしています。おはなし会では、いつもとは少し違うお話の空間を体験できたり、読んだことがある絵本でも読み手が変わることのでわくわく感ができたり、演出が加わることでドキドキしたりすることで、絵本の世界が一步広がる、そんなおはなし会を目指して行っています。



毎月1回、にじのいえで、絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊びやエプロンシアター等30分のおはなし会を行っています。3月、7月、12月はスペシャルおはなし会として、大型紙芝居やペープサート、パネルシアター等を手作りし、近隣の小学校3校や、地域の子育て支援センター、屋久島町図書室等でも公演しています。依頼があれば島内の遠方の小学校にも出向き、多くの子供たちにおはなしの世界を届けようと活動しています。

手作りの作品にこだわり、これまで作った作品は、人形劇、大型紙芝居、ブラックシアター、パネルシアター、ペープサート等21作品になります。これらに、絵本を参考にして、オリジナルの台本を作成し、練習を重ね、たくさんの子供たちに、動きと音楽とを効果的に加え、より楽しめるおはなしの世界を、多くの子供たちに贈っています。

メンバーは6人、少人数で作品を作り、練習しておはなしの世界を届けていくのは大変そうに感じられることもありますが、メンバーで集まって製作・練習しているときはとても楽しく、また実際におはなし会に参加する私たち自身もとても楽しく、いつも自然と笑顔で活動している、そんなおはなし会です。今後も、子供たちのキラキラした表情をイメージしながら、製作・公演を行っていきたいと思います。

